

社会常識でわかる 投資の基本



東京会場
JAビル カンファレンスセンター
 4階 401A
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL:03-3212-1912(代)

- 電車でのアクセス
 - ◎地下鉄千代田線・半蔵門線・三田線・東西線・丸の内線 大手町駅下車 C2b出口
 - ◎地下鉄東西線 竹橋駅下車4番出口
- お車でのアクセス
 首都高速道路：神田橋インターチェンジをご利用ください



名古屋会場
ミッドランドホール
 名古屋市中村区名駅4-7-1
 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F
 TEL:052-527-8500

- 電車でのアクセス
 - ◎JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
 - ◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- お車でのアクセス
 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分 駐車場の収容台数123台
- 中部国際空港(セントレア)から名鉄空港特急利用で28分



大阪会場
ヒルトン大阪
 大阪市北区梅田1-8-8
 TEL:06-6347-7111

- 電車でのアクセス
 - ◎大阪環状線・東海道本線・宝塚線 (JR) 大阪駅下車徒歩2分
 - ◎阪神電車 梅田駅下車 徒歩1分
 - ◎地下鉄四ツ橋線 西梅田駅下車 徒歩1分
- 駐車場のご利用
 - ◎24時間営業
 - ◎300台収容(高さ2.5mまで)

お申し込み方法
 右記のいずれかの方法で、お申し込みいただけます。その際に、開催日またはタイトルをお伝えください(定員になり次第、締め切らせて頂きます)。また、ご案内のセミナーは基本的に機関投資家および資産運用に関連する方を対象とさせて頂いております。それ以外の方からの申し込みはお断りさせて頂く場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

お申し込み方法
 右記のいずれかの方法で、お申し込みいただけます。その際に、開催日またはタイトルをお伝えください(定員になり次第、締め切らせて頂きます)。また、ご案内のセミナーは基本的に機関投資家および資産運用に関連する方を対象とさせて頂いております。それ以外の方からの申し込みはお断りさせて頂く場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

こちらからお申し込み下さい

- ① <http://www.fromhc.com>
 プロ投資家向け 資産運用情報サイト「from HC」
- ② FAX: 03-6685-0686
- ③ TEL: 03-6685-0683

※今後、セミナー案内をご希望されない方は、誠にお手数ですが、セミナー事務局まで、お電話(03-6685-0683)か、E-mail (info@fromhc.com)にて、ご連絡をお願い致します。

4/17 (火) 東京
 15:00~17:30 (開場14:30)
 会場：JAビル カンファレンスセンター 4階 401A
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL: 03-3212-1912(代)

4/23 (月) 名古屋
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場：ミッドランドホール
 名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア オフィスタワー 5F
 TEL: 052-527-8500

4/24 (火) 大阪
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場：ヒルトン大阪
 大阪市北区梅田1-8-8 TEL: 06-6347-7111

本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討することを目的としております。本セミナー終了後には金融商品取引契約の勧誘を行う場合がございます。金融商品取引契約においては、投資対象の価格変動等により損失が生じる恐れがあります。また、報酬や諸経費は、契約毎に投資対象の種類等が異なるため、予め表示できません。なお、契約毎にリスク及び報酬や諸経費は異なりますので、契約締結前交付書面等をご覧下さい。

[人+産業金融=成長]
 成長を支える投資の原点へ



ご挨拶に代えて

投資をおいしく学ぶ

『森本紀行はこうみる <http://www.fromhc.com/column/>』(2016.10.20)より

金融庁は、個人による投資を、資産形成という呼び方に改めて、その普及促進のために、投資教育を重要な政策課題にしています。しかし、国民の視点では、教育という名もとの押し付けはおかしなことで、自主的に投資を学習することの支援策でなければならないはずですが、学習を促すには、経済合理的な目的だけでなく、楽しさも必要です。必要性の認識と、楽しさとの間には、ある種の均衡がなければならないはずで、食事に喩えるなら、生存と健康を支える栄養価と、おいしさとの間にあるべき均衡が。

資産形成が生活の重要な一部である限りにおいて、味が求められるのではないのでしょうか。資産形成の必要性が認識されれば、自主的な学習への動機づけが起き、学習の動機づけを学習の継続につなげるためには、学習支援策が必要であり、その支援策の重要な要素として、資産形成の味、即ち、楽しさ、おもしろさ、おいしさが必要となるのです。

資産形成とは、形成済みの資産の管理ではなく、投機でもなく、その名の通り、ある目的に向かって、資産を形成していくことです。若い人にとっては、老後の生活を、今の生活の一部として、観念することは、理性的にはともかくも、生活感情的には、不可能だろうと思われま。お金には味がなく、味があるのは生活ですが、資産形成に味をつけるとしたら、お金と生活をつなぐものとして、お金によって購入するものの味しかないのではないのでしょうか。今買っているものを、将来も買っていたいという感情こそ、その購買原資を確保する方法としての資産形成に、味をつけるのです。

資産形成とは、政策的には、第一義的に、老後生活資金形成だとしても、一般的に言えば、欲しいものを買うために、お金を貯めることに帰着します。欲しいから、手段を学ぶのです。欲しいから、学ぶことが楽しいのです。味は、欲しいものにあります。老後の豊かな生活を具体的に思い描くこと、描けるようにしてあげること、そこにこそ、投資学習支援のカギはあるのです。

講師：森本紀行

講演内容

日常的な言葉で、常識的な論理で、資産運用を語ろうというのは、ひとつには、そのほうが自分自身に対して理解しやすいからですが、もうひとつには、そのほうが資産運用の専門家でない他人に対して説明しやすく、説明が受け入れられやすいからです。

年金基金等の資産運用の担当者にとって、自分自身が資産運用を理解していることは重要ですが、それ以上に、全く資産運用の知識をもたない関係者(母体企業や他部門の人など)に対して、資産運用を説明し理解してもらえることが重要です。

これまで簡単に使っていた片仮名の意味を徹底的に再検討し、対応する日常的な日本語を厳選する努力をしていくことで、十分に理解できていなかった専門用語の理解が深まり、資産運用の本当の意味がみえてくるはずで。

また、投資というと、何か特別な技能によって上手にお金儲けをすることだ、というふうになってしまう人も多いでしょう。とんでもないことです。投資とは、銀行融資と同じように、金融の仕組みにすぎません。企業や政府などの資金調達の一環として資金供給するのが、投資の役割です。

株式といい債券といい、それを発行した企業や政府からみれば資金調達の道具であり、それを取得する投資家の立場からみれば投資対象なのです。であれば、資産運用は企業の財務行動の反対側にあるにすぎないのですから、その資産運用を理解できない企業人などあり得ないことがわかるでしょう。そのように、資産運用を企業経営の常識のなかに再構築してみましょう。

項目

- 資産運用の高度化
 - ◎ガバナンス改革
 - ◎「好循環」
 - ◎顧客本位と顧客満足の違い
- ポートフォリオ管理の理論
 - ◎投資の本質
 - ◎インカム戦略
 - ◎リスクテイク戦略(リスクアベタイトフレームワーク)
- 資金提供の手段
 - ◎事業価値と資本構成
 - ◎オルタナティブとは何か



講師略歴

HCアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長

森本紀行

三井生命のファンドマネジャーを経て、1990年1月当時のワイアット株式会社に入社。日本初の事業として、年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げる。2002年11月、HCアセットマネジメントを設立、全世界の投資機会を発掘し、専門家に運用委託するという、新しいタイプの資産運用事業を始める。東京大学文学部哲学科卒。